

病院事業会計

(公営企業会計)

1 業務状況（詳細については第1表診療科別医業収益の状況参照）

(1) 患者数の状況

当年度の入院及び外来を合わせた年間延患者数は 272,536 人で、前年度と比べて 31,887 人 (10.5%) 減少している。このうち入院患者数は 96,876 人で、前年度より 5,296 人 (5.2%) 減少し、外来患者数も 175,660 人で、前年度より 26,591 人 (13.1%) 減少している。

一日当たりの平均入院患者数は 264.7 人で、前年度より 15.2 人 (5.4%) 減少し、外来患者数も 722.9 人で前年度より 109.4 人 (13.1%) 減少している。

【公立能登総合病院】

項目	年度	令和3年度	令和4年度 (A)	令和5年度 (B)	比較増減 (C) (C=B-A)	増減率(%) (C/A×100)
		年間延患者数(人)	308,486	304,423	272,536	△ 31,887
	入院	104,155	102,172	96,876	△ 5,296	△ 5.2
	外来	204,331	202,251	175,660	△ 26,591	△ 13.1
一日平均患者数(人)		1,129.7	1,112.2	987.6	△ 124.6	△ 11.2
	入院	285.4	279.9	264.7	△ 15.2	△ 5.4
	外来	844.3	832.3	722.9	△ 109.4	△ 13.1
病床稼働率(%)		65.8	64.5	61.0	△ 3.5	△ 5.4
	一般	77.5	76.4	71.3	△ 5.1	△ 6.7
	精神	29.4	27.8	29.4	1.6	5.8
	感染症	2.8	4.0	0.0	△ 4.0	皆減
平均在院日数(日)		17.5	17.4	16.5	△ 0.9	△ 5.2
	一般	16.0	16.0	15.0	△ 1.0	△ 6.3
	精神	69.1	61.7	67.2	5.5	8.9
	(感染症)	(6.3)	(10.0)	(0.0)	△10.0	皆減

(注) ・ 令和5年度末現在の病床数 : 434床(一般 330床、精神100床、感染症4床)

・ 令和5年度診療日数 : 入院 366日、外来243日

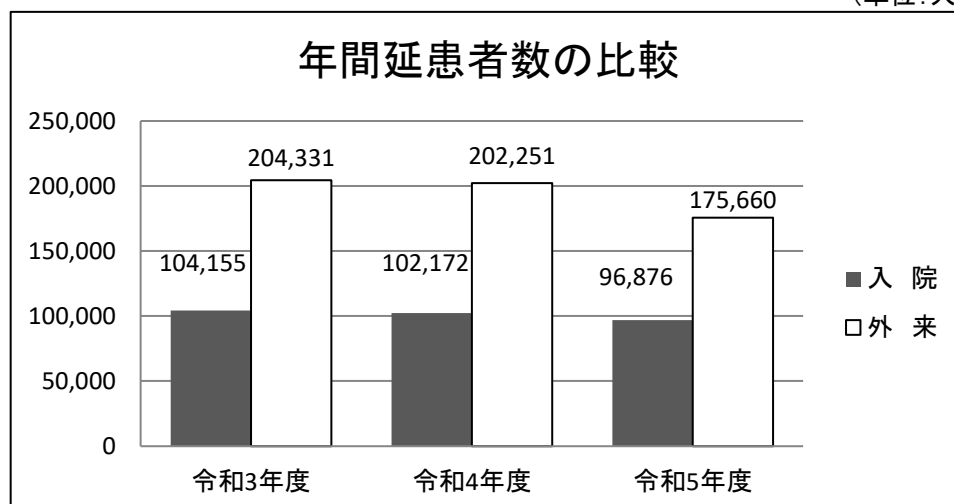
・ 病床稼働率の欄は、新型コロナウイルス感染症患者について感染症病床のほかに、新たに感染症病床として確保した一般病床にも含めている。

・ 平均在院日数については、(感染症)は一般の内数となっている。

【診療所】

	七尾市国民健康保険直営能登島診療所			七尾市国民健康保険直営鉦打診療所		
	令和4年度	令和5年度	増減	令和4年度	令和5年度	増減
延外来患者数	2,150人	1,981人	△ 169人	74人	67人	△ 7人
一日平均	11.4人	10.5人	△ 0.9人	1.8人	1.9人	0.1人
診療日数	188日	189日	1日	41日	35日	△ 6日

(単位:人)



(2) 職員数の状況

当年度末の職員数は630人(正規職員507人、会計年度任用職員123人)で、前年度と比べて5人増加している(正規職員1人増、会計年度任用職員4人増)。

職種では、正規職員で医師54人(対前年度比1人増)、看護師等313人(前年同数)、医療技師等56人(対前年度比1人増)、放射線技師13人(対前年度比1人減)などとなっている。

会計年度任用職員では、医師6人(対前年度比2人増)、看護師等61人(対前年度比2人減)などとなっている。

職員数の状況

区分	正規職員				会計年度任用職員				計			
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	対前年度増減	令和3年度	令和4年度	令和5年度	対前年度増減	令和3年度	令和4年度	令和5年度	対前年度増減
医師	53	53	54	1	5	4	6	2	58	57	60	3
看護師等	314	313	313	0	72	63	61	△2	386	376	374	△2
薬剤師	10	10	10	0	0	0	0	0	10	10	10	0
放射線技師	15	14	13	△1	1	0	0	0	16	14	13	△1
臨床検査技師	18	19	20	1	0	0	0	0	18	19	20	1
管理栄養士・調理師等	13	15	14	△1	18	17	19	2	31	32	33	1
医療技師等	53	55	56	1	1	4	5	1	54	59	61	2
事務員等	26	27	27	0	33	31	32	1	59	58	59	1
全職員数	502	506	507	1	130	119	123	4	632	625	630	5

(3) 施設等及び医療器械等の整備状況(税込み)

建設改良費は14億5,426万9千円で、前年度と比べて12億829万6千円(491.2%)増加している。内訳は、器械備品として、医療情報システム6億8,262万3千円、医療情報システム(ネットワーク更新)2,860万円が主なものである。

保存修繕工事等は8,159万5千円で、前年度と比べて991万6千円(10.8%)減少している。内訳は、一般修繕として冷温水発生機冷却水系統チューブ修繕750万1千円、蒸気ボイラ缶体2基更新工事794万2千円、放射線防護施設密閉交換型フィルター交換1,078万円が主なものである。

【公立能登総合病院】

区 分	令和3年度	令和4年度 (A)	令和5年度 (B)	比較増減 (C) (C=B-A)	増減率 (C/A ×100)	備 考
建設改良費 (資本的支出)	千円 293,499	千円 245,973	千円 1,454,269	千円 1,208,296	% 491.2	
器械備品	290,419	235,692	1,141,209	905,517	384.2	
医療用品 器械備品	271,994	227,398	413,398	186,000	81.8	デジタルX線透視撮影システム 40,260千円 X線CT装置(64列) 175,450千円
医療外 器械備品	15,400	638	4,928	4,290	672.4	例月給与支給明細書等表示 システム 4,928千円
病院医療情 報システム	0	5,948	722,883	716,935	12,053.4	医療情報システム 682,623千円 医療情報システム(ネットワ ーク更新) 28,600千円
診療所医療 情報システム	3,025	429	0	△ 429	皆減	
車 両	0	1,279	0	△ 1,279	皆減	
建 物 等	3,080	10,281	313,060	302,779	2,945.0	
建 物	3,080	10,281	313,060	302,779	2,945.0	中央監視システム通信装置 更新工事 167,200千円
保存修繕工事等	111,303	91,511	81,595	△ 9,916	△ 10.8	
医療器械等	28,273	30,418	21,377	△ 9,041	△ 29.7	X線透視装置修理4,950千円
一 般 修 繕	81,538	59,675	59,007	△ 668	△ 1.1	冷温水発生機冷却水系統 チューブ修繕 7,501千円 蒸気ボイラ缶体2基更新工事 7,942千円 放射線防護施設密閉交換型 フィルター交換 10,780千円
自動車修繕	1,492	1,418	1,211	△ 207	△ 14.6	車検整備等

【診療所】

区 分	令和3年度	令和4年度 (A)	令和5年度 (B)	比較増減 (C) (C=B-A)	増減率 (C/A ×100)	備 考
一般修繕	千円 0	千円 0	千円 187	千円 187	% 皆増	建物等修繕
自動車修繕	45	0	69	69	皆増	車検整備等

2 予算執行状況

(1) 収益的収入及び支出(税込み)

病院事業収益の予算額92億8,224万9千円に対して決算額は88億3,587万3千円となっている。病院事業費用の予算額92億3,923万8千円に対して決算額は86億9,843万円となっている。

収益的収入の状況

区 分	予 算 額	決 算 額	予算額に対する決算額の増減	
			金 額	主な内訳
病院事業収益	千円 9,282,249	千円 8,835,873	千円 △ 446,376	
医 業 収 益	8,088,624	7,637,610	△ 451,014	入院収益 △185,871千円 外来収益 △241,513千円 その他医業収益 △23,630千円
医 業 外 収 益	1,193,625	1,193,640	15	受取利息配当金 2,348千円 補助金 3,690千円 負担金交付金 △884千円 長期前受金戻入 △1,760千円 その他医業外収益 △3,379千円
特 別 利 益	0	4,623	4,623	その他特別利益 4,623千円

収益的支出の状況

区 分	予 算 額	決 算 額	繰越額	不 用 額	
				金 額	主な内訳
病院事業費用	千円 9,239,238	千円 8,698,430	千円 1,017	千円 539,791	
医 業 費 用	8,863,726	8,351,747	1,017	510,962	給与費 268,438千円 材料費 88,956千円 経費 133,521千円 減価償却費 5,129千円 資産減耗費 1,951千円 研究研修費 12,967千円
医 業 外 費 用	290,876	262,189	0	28,687	支払利息及び企業債取扱諸費 425千円 雑損失 7,289千円 消費税 3,602千円 長期前払消費税償却 17,371千円
特 別 損 失	84,636	84,494	0	142	災害損失 141千円 固定資産売却損 1千円

(2) 資本的収入及び支出(税込み)

資本的収入の予算額 18 億 9,682 万 4 千円に対して決算額は 17 億 8,754 万 3 千円であり、1 億 928 万 1 千円の減で、収入率は 94.2%となっている。

資本的支出の予算額 24 億 3,644 万 4 千円に対して決算額は 23 億 9,708 万 9 千円であり、3,935 万 5 千円の不用額が生じ、執行率は 98.4%となっている。

資本的収入と資本的支出の差し引き額で不足する額 6 億 954 万 6 千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 255 万 3 千円、減債積立金 2 億 7,373 万 5 千円、過年度分損益勘定留保資金 3 億 3,325 万 8 千円で補填している。

資本的収入の状況

区 分	予 算 額	決 算 額	収 入 率	予算額に対する決算額の増減	
				金 額	主な内訳
資 本 的 収 入	千円 1,896,824	千円 1,787,543	% 94.2	千円 △ 109,281	
企 業 債	1,430,900	1,320,300	92.3	△ 110,600	建設改良に要する企業債 △110,600千円
他会計補助金	47,150	47,150	100.0	0	
他会計負担金	352,401	352,401	100.0	0	
寄 附 金	1	1,000	100,000.0	999	
投資回収金	100	469	469.0	369	
補 助 金	52,068	52,018	99.9	△ 50	
固定資産売却代金	14,204	14,205	100.0	1	

資本的支出の状況

区 分	予 算 額	決 算 額	執 行 率	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額	
					金 額	主な内訳
資 本 的 支 出	千円 2,436,444	千円 2,397,089	% 98.4	千円 0	千円 39,355	
建設改良費	1,489,595	1,454,269	97.6	0	35,326	器械備品購入費 18,798千円 車両購入費 3,960千円 委託料 6,512千円 工事請負費 6,056千円
企業債償還金	937,897	937,896	100.0	0	1	建設改良に要する 企業債償還金 1千円
投 資	8,952	4,924	55.0	0	4,028	長期貸付金 3,396千円 その他投資 632千円

(3) 企業債に関する状況

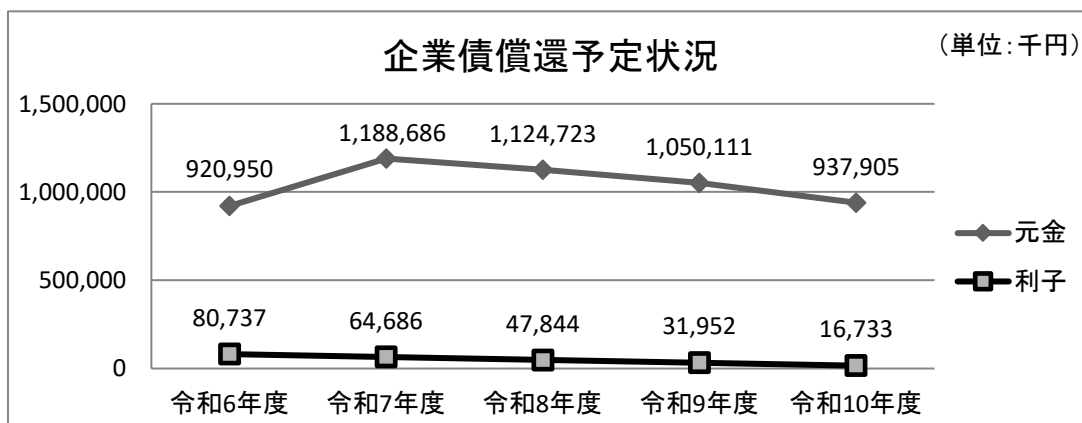
前年度の未償還残高 52 億 8,393 万 9 千円から、令和 5 年度は 9 億 3,789 万 6 千円償還したが、医療機器整備事業、施設整備事業、照明施設 LED 化改修事業に伴い、本年度は 13 億 2,030 万円の新規借入れを行っている。その結果、本年度の未償還残高は 56 億 6,634 万 3 千円となっている。

企業債明細書

区 分	令和4年度末現債額		令和5年度借入額		令和5年度償還額		令和5年度末現債額	
	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額
	件	千円	件	千円	件	千円	件	千円
病院移転新築事業債	5	3,854,386			5	629,534	5	3,224,852
隔離病舎整備事業債	4	39,237			4	6,115	4	33,123
医療機器整備事業債	5	639,926	2	1,007,300	4	186,375	7	1,460,851
精神病棟移転事業債	2	566,075			2	67,662	2	498,413
人工透析増築事業債	2	66,775			2	10,636	2	56,138
精神センター増築改修事業債	1	20,600			1	20,600	0	0
施設整備事業債	6	96,940	1	302,000	5	16,974	7	381,966
照明施設LED化改修事業	0	0	1	11,000	0	0	1	11,000
合 計	25	5,283,939	4	1,320,300	23	937,896	28	5,666,343

企業債償還予定（向こう5か年分）

区 分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
	千円	千円	千円	千円	千円
企業債償還元金	920,950	1,188,686	1,124,723	1,050,111	937,905
企業債償還利子	80,737	64,686	47,844	31,952	16,733
合 計	1,001,687	1,253,372	1,172,567	1,082,063	954,638



3 経営状況（詳細については第2表比較損益計算書参照）

(1) 概況

当年度の経営状況（損益計算）は、事業収益 88 億 918 万 4 千円に対し、事業費用は 86 億 7,954 万円で、差し引き 1 億 2,964 万 4 千円の純利益となっている。

この結果、前年度繰越利益剰余金 49 億 4,593 万円、その他未処分剰余金変動額 2 億 7,373 万 5 千円を合せて当年度未処分利益剰余金は 53 億 4,930 万 9 千円となっている。

経営成績(税抜き)

区 分	令和3年度		令和4年度		令和5年度		前年度対比(増減)	
	金 額	構成比	金 額 (A)	構成比	金 額 (B)	構成比	金 額 (C) (C=B-A)	増減率 (C/A× 100)
事 業 収 益	千円 10,352,031	% 100.0	千円 10,210,770	% 100.0	千円 8,809,184	% 100.0	千円 △ 1,401,586	% △ 13.7
医 業 収 益 (A)	7,979,351	77.1	8,254,462	80.8	7,617,232	86.4	△ 637,230	△ 7.7
医 業 外 収 益 (B)	2,372,680	22.9	1,951,745	19.1	1,187,329	13.5	△ 764,416	△ 39.2
特 別 利 益 (C)	0	0.0	4,563	0.1	4,623	0.1	60	1.3
事 業 費 用	8,473,575	100.0	8,624,258	100.0	8,679,540	100.0	55,282	0.6
医 業 費 用 (D)	8,066,465	95.2	8,178,043	94.8	8,219,438	94.7	41,395	0.5
医 業 外 費 用 (E)	407,110	4.8	393,803	4.6	378,549	4.4	△ 15,254	△ 3.9
特 別 損 失 (F)	0	0.0	52,412	0.6	81,553	0.9	29,141	55.6
医 業 損 失 (A)-(D)	87,114		0		602,206		602,206	皆増
医 業 利 益 (A)-(D)	0		76,419		0		△ 76,419	皆減
経 常 利 益 (A+B)-(D+E)	1,878,456		1,634,361		206,574		△ 1,427,787	△ 87.4
純 利 益 (事業収益-事業費用)	1,878,456		1,586,512		129,644		△ 1,456,868	△ 91.8
前 年 度 繰 越 利 益 剰 余 金	1,880,963		3,559,418		4,945,930		1,386,512	39.0
そ の 他 未 処 分 剰 余 金 変 動 額	270,673		272,187		273,735		1,548	0.6
当 年 度 未 処 分 利 益 剰 余 金	4,030,092		5,418,117		5,349,309		△ 68,808	△ 1.3
総 収 益 対 総 費 用 比 率	% 122.2		% 118.4		% 101.5		ポイント △ 16.9	
医 業 収 益 対 医 業 費 用 比 率	98.9		100.9		92.7		△ 8.2	

(2) 収益及び費用(税抜き)

事業収益のうち医業収益 76 億 1,723 万 2 千円(入院収益 49 億 400 万 6 千円、外来収益 22 億 7,122 万 9 千円、その他医業収益 4 億 4,199 万 7 千円)は、前年度の決算額 82 億 5,446 万 2 千円と比べて 6 億 3,723 万円(7.7%)減少している。

これは、患者数が入院及び外来ともに減少したことから、入院収益 2 億 6,157 万 3 千円(5.1%)、外来収益 3 億 1,671 万 9 千円(12.2%)、その他医業収益 5,893 万 8 千円(11.8%)減少したことによるものである。

また、医業外収益では 11 億 8,732 万 9 千円となり、前年度 19 億 5,174 万 5 千円と比べて 7 億 6,441 万 6 千円(39.2%)減少している。

これは、補助金が 7 億 7,365 万 9 千円(83.0%)減少などによるものである。

一方、事業費用のうち医業費用は 82 億 1,943 万 8 千円で、前年度 81 億 7,804 万 3 千円と比べて 4,139 万 5 千円(0.5%)増加している。

これは、給与費が 6,910 万 8 千円(1.4%)増加、経費が 2,640 万 2 千円(1.7%)増加したことなどによるものである。

医業外費用 3 億 7,854 万 9 千円は、前年度 3 億 9,380 万 3 千円と比べて 1,525 万 4 千円(3.9%)減少している。

この結果、医業収益と医業費用との医業収支は、6 億 220 万 6 千円の医業損失となっている。前年度 7,641 万 9 千円の医業利益であったのに対し、本年度は医業損失となっている。

医業損失に医業外収支 8 億 878 万円を加算した経常利益は、2 億 657 万 4 千円となり、前年度の経常利益 16 億 3,436 万 1 千円と比べて、14 億 2,778 万 7 千円(87.4%)減少している。

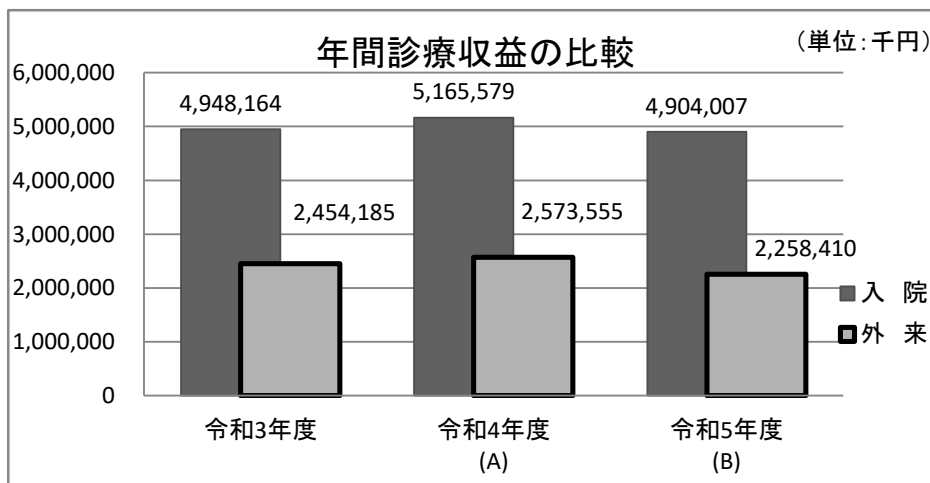
(3) 患者一人一日あたりの収益(税込み)

当年度の入院患者一人一日あたり収益は5万784円で、前年度と比べて58円(0.1%)増加している。また、外来患者一人一日あたり収益は1万2,857円で、前年度より132円(1.0%)増加している。

診療(入院・外来)収益比較表

【公立能登総合病院】

区 分		令和3年度	令和4年度 (A)	令和5年度 (B)	比較増減 (C) (C=B-A)	増減率(%) (C/A×100)
診療日数(日)	入 院	365	365	366	1	0.3
	外 来	242	243	243	0	0.0
年間診療収益(千円)		7,402,349	7,739,134	7,162,417	△ 576,717	△ 7.5
	入 院	4,948,164	5,165,579	4,904,007	△ 261,572	△ 5.1
	外 来	2,454,185	2,573,555	2,258,410	△ 315,145	△ 12.2
1人1日あたり 収 益 (円)	入 院	47,612	50,726	50,784	58	0.1
	外 来	12,011	12,725	12,857	132	1.0



4 財政状況（詳細については第3表比較貸借対照表参照）

(1) 資産

当年度末の財政状況(貸借対照表)をみると、資産合計は203億6,524万5千円で、前年度の190億8,753万6千円と比べて12億7,770万9千円(6.7%)増加している。

固定資産は98億6,220万3千円で、前年度の88億7,360万5千円と比べ9億8,859万8千円(11.1%)増加している。

この固定資産の内訳では、器械備品が18億2,284万5千円で前年度より8億1,712万7千円(81.2%)増加、長期前払消費税が1億6,323万円で前年度より1億1,062万9千円(210.3%)増加となっている。

また、流動資産は105億304万2千円で前年度の102億1,393万1千円と比べて2億8,911万1千円(2.8%)増加している。

この流動資産の内訳では、現金預金が89億7,706万8千円で前年度より8億4,246万円(10.4%)増加している。

財政状況比較表(税抜き)

区 分	令和3年度		令和4年度		令和5年度		前年度対比(増減)	
	金 額	構成比	金 額 (A)	構成比	金 額 (B)	構成比	金 額 (C) (C=B-A)	増減率 (C/A× 100)
	千円	%	千円	%	千円	%	千円	%
資 産 合 計	17,889,791	100.0	19,087,536	100.0	20,365,245	100.0	1,277,709	6.7
固 定 資 産	9,122,339	51.0	8,873,605	46.5	9,862,203	48.4	988,598	11.1
流 動 資 産	8,767,452	49.0	10,213,931	53.5	10,503,042	51.6	289,111	2.8

(2) 負債及び資本

負債資本合計は、203億6,524万5千円で、前年度の190億8,753万6千円と比べて12億7,770万9千円(6.7%)増加している。

これは、負債合計が106億2,145万7千円で、前年度の95億3,021万6千円と比べて10億9,124万1千円(11.5%)増加している。

この負債合計の内訳では、固定負債が64億7,014万円で、前年度の59億2,476万円と比べて5億4,538万円(9.2%)増加している。

資本合計は、97億4,378万8千円で、前年度の95億5,732万円と比べて1億8,646万8千円(2.0%)増加している。

この資本合計の内訳では、資本金が30億9,306万2千円で、前年度の28億2,087万5千円と比べて2億7,218万7千円(9.6%)増加している。

財政状況比較表(税抜き)

区 分	令和3年度		令和4年度		令和5年度		前年度対比(増減)	
	金 額	構成比	金 額 (A)	構成比	金 額 (B)	構成比	金 額 (C) (C=B-A)	増減率 (C/A ×100)
	千円	%	千円	%	千円	%	千円	%
負 債 資 本 合 計	17,889,791	100	19,087,536	100	20,365,245	100	1,277,709	6.7
負 債 合 計	9,974,639	55.8	9,530,216	49.9	10,621,457	52.2	1,091,241	11.5
固 定 債	6,545,125	36.6	5,924,760	31.0	6,470,140	31.8	545,380	9.2
流 動 債	1,826,859	10.2	1,875,919	9.8	2,261,124	11.1	385,205	20.5
繰 上 延 益	1,602,655	9.0	1,729,537	9.1	1,890,193	9.3	160,656	9.3
資 本 合 計	7,915,152	44.2	9,557,320	50.1	9,743,788	47.8	186,468	2.0
資 本 金	2,550,202	14.2	2,820,875	14.8	3,093,062	15.2	272,187	9.6
剰 余 金	5,364,950	30.0	6,736,445	35.3	6,650,726	32.6	△ 85,719	△ 1.3

(3) 個人診療費の未収金状況

当年度末現在の入院と外来を合わせた患者自己負担金の未収金は、1,748 件の 7,488 万 4 千円と
なっている。前年度と比べると、件数は 180 件増、未収金額は 1,154 万 1 千円(13.4%)減少している。

現年度分については、前年度は 4,253 万 9 千円であったが、当年度は 3,149 万円と 1,104 万 9 千円
(26.0%)減少している。

個人診療費の未収金状況表

【公立能登総合病院】

年度	R5.3.31現在 未 収		入金額 円	不 納 欠損額 円	R6.3.31現在 未 収		構成比 %	前年度対比		
	件数 件	未収金額 円			件数 件	未収金額 円		増減件数 件	増減額 円	伸び率 %
H18	3	532,333	30,000	0	3	502,333	0.7	0	△ 30,000	△ 5.6
H19	5	1,249,978	0	0	5	1,249,978	1.7	0	0	0.0
H20	8	1,013,704	150,000	0	7	863,704	1.2	△ 1	△ 150,000	△ 14.8
H21	12	1,289,221	232,000	0	11	1,057,221	1.4	△ 1	△ 232,000	△ 18.0
H22	17	1,295,022	38,400	0	15	1,256,622	1.7	△ 2	△ 38,400	△ 3.0
H23	21	3,738,707	152,016	0	19	3,586,691	4.8	△ 2	△ 152,016	△ 4.1
H24	33	4,843,360	88,410	0	33	4,754,950	6.3	0	△ 88,410	△ 1.8
H25	44	5,751,081	108,211	0	40	5,642,870	7.5	△ 4	△ 108,211	△ 1.9
H26	54	2,528,713	0	0	54	2,528,713	3.4	0	0	0.0
H27	35	3,555,418	60,000	0	35	3,495,418	4.7	0	△ 60,000	△ 1.7
H28	38	2,019,177	30,000	0	38	1,989,177	2.7	0	△ 30,000	△ 1.5
H29	47	1,298,303	238,899	0	41	1,059,404	1.4	△ 6	△ 238,899	△ 18.4
H30	47	3,098,213	348,102	0	41	2,750,111	3.7	△ 6	△ 348,102	△ 11.2
R1	48	3,931,120	189,640	0	43	3,741,480	5.0	△ 5	△ 189,640	△ 4.8
R2	48	2,784,327	197,517	0	38	2,586,810	3.4	△ 10	△ 197,517	△ 7.1
R3	88	4,956,719	1,798,634	0	60	3,158,085	4.2	△ 28	△ 1,798,634	△ 36.3
R4	1,020	42,539,304	39,369,204	-	78	3,170,100	4.2	△ 942	△ 39,369,204	△ 92.5
R5	-	-	-	-	1,187	31,490,459	42.0	1,187	31,490,459	皆増
計	1,568	86,424,700	43,031,033	0	1,748	74,884,126	100.0	180	△ 11,540,574	△ 13.4

(4) 改革プランの目標達成状況について

「第6次経営改革のシナリオ ～公立能登総合病院改革プラン～」(令和3年度～令和5年度)の目標達成状況は、次のとおりとなっている。

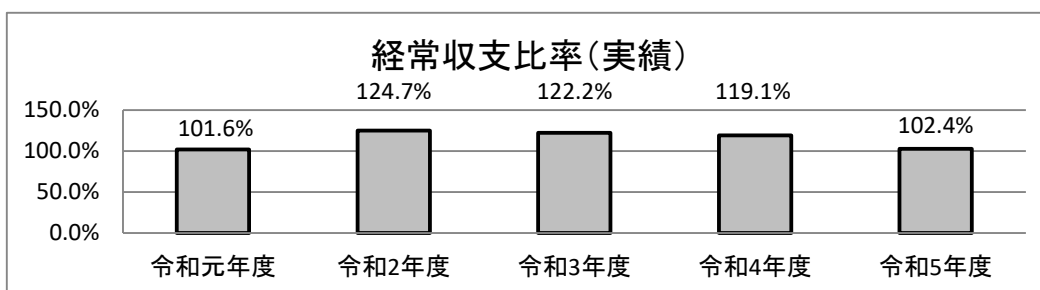
ア 経営指標に係る数値目標と実績

(ア) 経常収支比率

経常的な経営活動から生ずる経常収益で、経常費用を賄うことができているかを示す指標。この指標が100%を下回る幅が大きいほど赤字が大きい。

当年度の経常収支比率は102.4%で前年度と比べて16.7ポイント低くなっている。

令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和5年度 (目標)
101.6%	124.7%	122.2%	119.1%	102.4%	101.0%

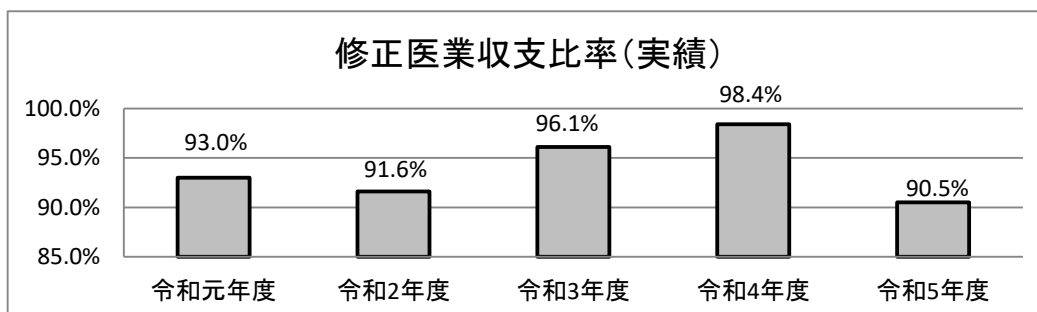


(イ) 修正医業収支比率

医業活動から生じる医業費用に対する医業収益(繰入金を除く)の割合を示す指標。この指標は、医業費用が医業収益によってどの程度賄われているかを示すものであり、医業活動における経営状況を判断するものである。

当年度の修正医業収支比率は90.5%で、前年度と比べて7.9ポイント低くなっている。

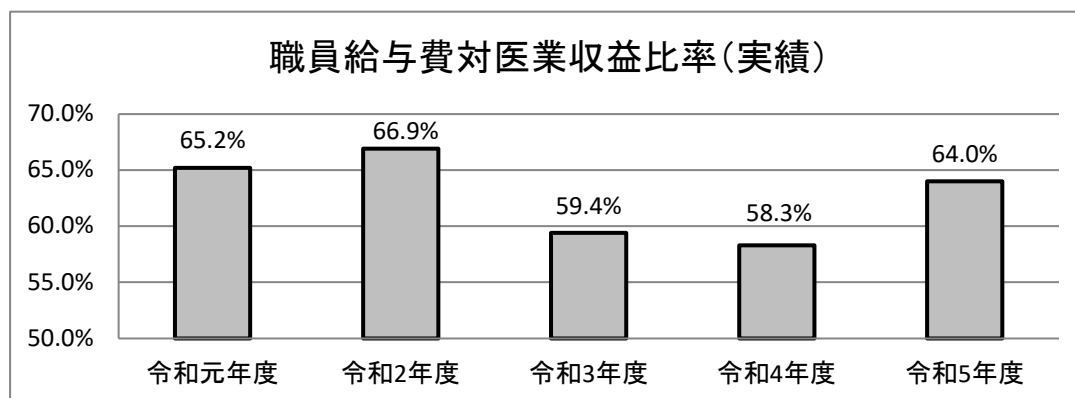
令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和5年度 (目標)
93.0%	91.6%	96.1%	98.4%	90.5%	91.1%



(ウ) 職員給与費対医業収益比率

当年度の医業収益に対する職員給与費の割合は64.0%で、前年度と比べて5.7ポイント高くなっている。

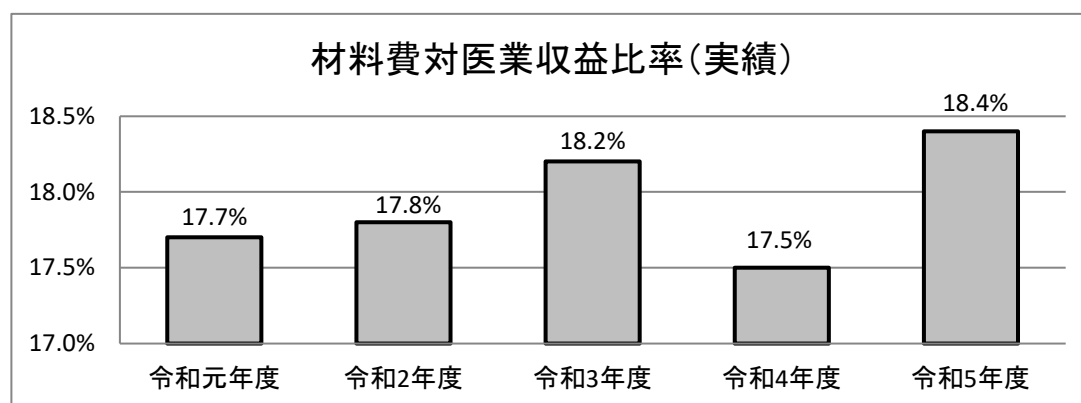
令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和5年度 (目標)
65.2%	66.9%	59.4%	58.3%	64.0%	63.2%



(エ) 材料費対医業収益比率

当年度の医業収益に対する材料費の割合は18.4%で、前年度と比べて0.9ポイント高くなっている。

令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和5年度 (目標)
17.7%	17.8%	18.2%	17.5%	18.4%	17.8%



※算出式

経常収支比率 = 経常収益 ÷ 経常費用 × 100

医業収支比率 = 医業収益 ÷ 医業費用 × 100

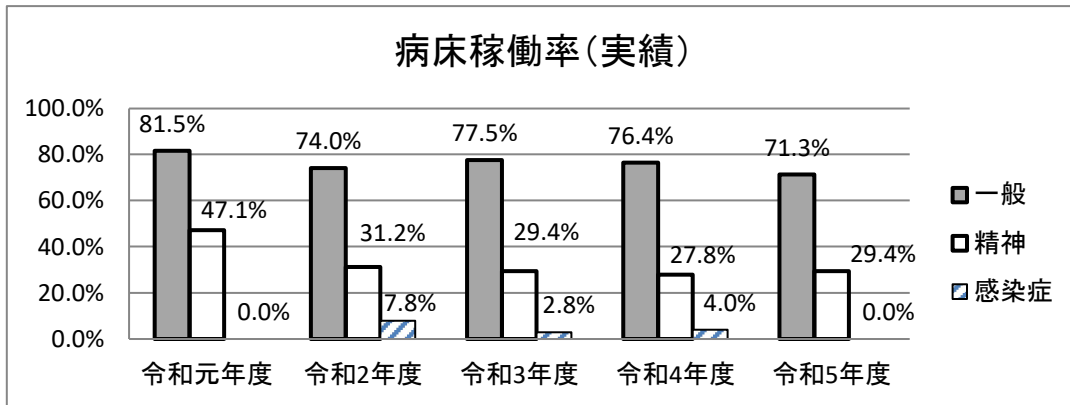
職員給与費対医業収益比率 = 職員給与費 ÷ 医業収益 × 100

材料費対医業収益比率 = 材料費 ÷ 医業収益 × 100

(オ) 病床稼働率

当年度の年延病床数に対する年延入院患者数(一日退院患者含む)の割合(病床稼働率)は、一般病床 71.3%、精神病床 29.4%、感染症病床 0.0%で、前年度と比べて一般病床が 5.1 ポイント低く、精神病床は 1.6 ポイント高く、感染症病床は 4.0 ポイント低くなっている。

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和5年度 (目標)
一般	81.5%	74.0%	77.5%	76.4%	71.3%	78.0%
精神	47.1%	31.2%	29.4%	27.8%	29.4%	34.0%
感染症	0.0%	7.8%	2.8%	4.0%	0.0%	0.0%



(カ) 患者一人あたり診療収入

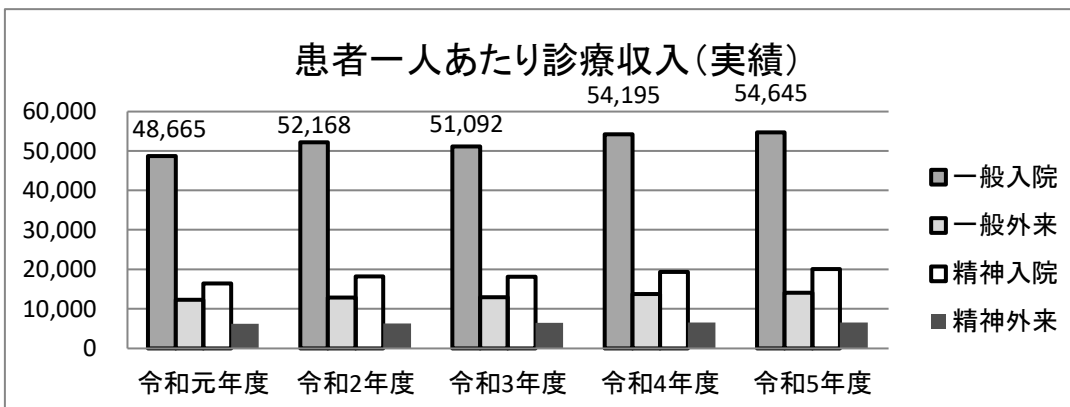
当年度の診療収入を延患者数で割った患者一人あたりの平均診療単価は、一般入院 54,645 円、一般外来 14,041 円で前年度と比べて一般入院が 450 円高く、一般外来は 262 円高くなっている。また、精神入院は 20,036 円、精神外来が 6,520 円で前年度と比べて精神入院 694 円高く、精神外来が 37 円低くなっている。

【公立能登総合病院】

(単位:円)

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和5年度 (目標)	
一般	入院	48,665	52,168	51,092	54,195	54,645	50,000
	外来	12,325	12,873	12,960	13,779	14,041	13,000
精神	入院	16,425	18,162	18,157	19,342	20,036	16,800
	外来	6,171	6,298	6,464	6,557	6,520	6,480

※ 感染症病床(4床)の入院については、一般の入院に含む。



イ 医療機能確保に関する数値目標と実績

(ア) 一日あたりの平均入院患者数

当年度の一日あたりの平均入院患者数は 264.7 人で、前年度と比べて 15.2 人減少している。

(単位:人)

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和5年度 (目標)
一般	269.0	244.4	256.0	252.2	235.3	257.5
精神	47.1	31.2	29.4	27.7	29.4	34.0
合計	316.1	275.5	285.4	279.9	264.7	291.5

※人間ドック及び感染症病床(4床)を含む

※単位未満の四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある

(イ) 一日あたりの平均外来患者数

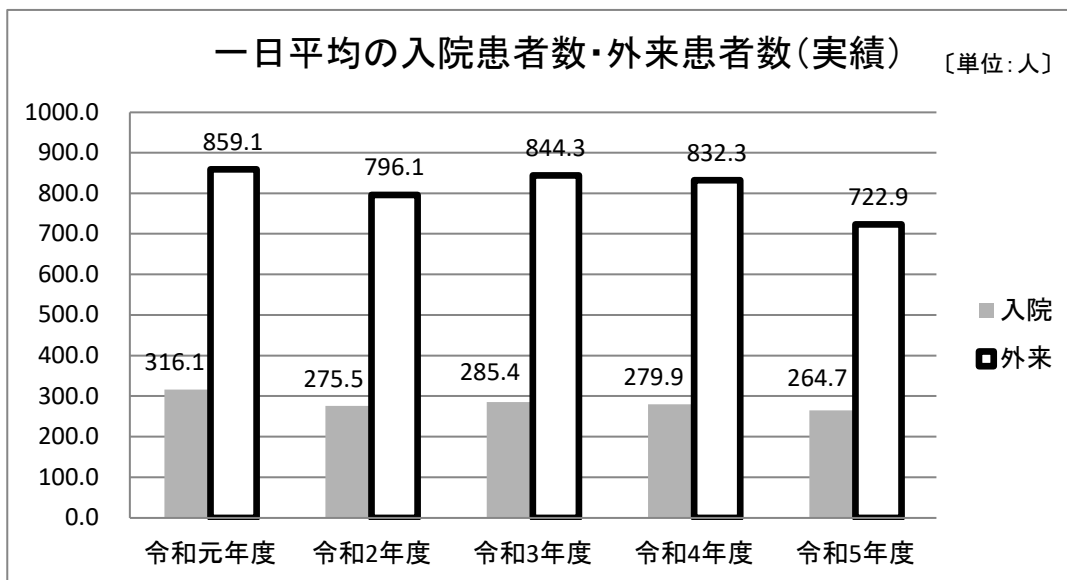
当年度の一日あたりの平均外来患者数は 722.9 人で、前年度と比べて 109.4 人減少している。

【公立能登総合病院】

(単位:人)

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和5年度 (目標)
一般	741.8	679.1	720.9	710.8	609.1	680.0
精神	117.3	116.9	123.4	121.5	113.8	126.0
合計	859.1	796.1	844.3	832.3	722.9	806.0

※単位未満の四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある



(ウ) 臨床研修医受入れ人数

令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和5年度 (目標)
8人	6人	3人	2人	4人	5人

5 意見

公立能登総合病院の患者数の状況をみると、年間延べ患者数は27万2,536人で、前年度と比べて31,887人（10.5%）減少しており、一日平均患者数は987.6人で、前年度より124.6人（11.2%）減少し、入院患者、外来患者ともに減少している。これは、従来からあった人口減少によると推定される減少傾向に加え、1月以降は元旦に発災した震災の影響を受け、入院患者、外来患者ともに減少したことによる。震災により通院が困難な状況になった外来患者で症状が比較的安定している方には、投薬の期間を通常より長めにするなどの対応を行ったことや、避難所で公立能登総合病院以外のDMAT（災害派遣医療チーム）が対応した影響が表れている。

一般病床の平均在院日数は15.0日で、前年度より1.0日（6.3%）減少している。一方、精神病床では67.2日で、前年度より5.5日（8.9%）増加している。

経営状況をみると、事業収益は88億918万4千円で、前年度と比べて14億158万6千円（13.7%）減少しており、対する事業費用は86億7,954万円で、前年度より5,528万2千円（0.6%）増加している。この結果、当年度純利益は1億2,964万4千円で、前年度より14億5,686万8千円（91.8%）減少している。主な要因としては、医業収益が6億3,723万円（7.7%）、医業外収益が7億6,441万6千円（39.2%）減少したことによる。医業収益の減少は、診療単価が入院に関しては58円/人、外来に関しては132円/人ともに増加させることができたが、震災により、施設及び設備が破損し、加えて市内全域が断水となり、検査、手術および人工透析など主要な診療を制限せざるを得ない時期があったことによる患者数の減少が大きく影響している。医業外収益の減少は、感染症法上の分類で新型コロナウイルス感染症が令和5年5月に2類から5類に変更され、関連する補助金が大幅に減ったことによる。

経営指標をみると、入院患者一人一日あたり収益は5万784円で、前年度と比べて58円（0.1%）増加している。また、外来患者一人一日あたり収益は1万2,857円で、前年度より132円（1.0%）増加している。

医業費用が医業収益によって、どの程度賄われているかを示す修正医業収支比率は90.5%で、前年度より7.9ポイント低くなっている。今後も経営指標に係る数値を注視し、さらなる経営上の改善を図られたい。

次に、医業未収金においては、患者の自己負担額の未収金は7,488万4千円で、前年度より1,154万1千円（13.4%）減少している。前年度はコロナ患者分（1,151万1千円）については公費負担の事務処理のため収入が遅れていたが、それが解消された今年度は新型コロナウイルス流行前の令和元年度と同レベルに戻っていることが確認された。平成30年から法律事務所に医業未収金の回収業務を委託し、回収強化に取り組んできており、今後も、きめ細やかで迅速な納付相談など未収金の発生防止および早期回収に努められたい。

資本的支出の内、建設改良費については、器械備品ではX線CT装置などの54品目、医療外器械備品では医療情報システムなど耐用年数を過ぎた備品の更新を行っている。また、建物については中央監視システムおよび気送管設備の一部を更新するなどの整備を行っている。

結びに、提出された決算資料からは、ここ数年来のコロナ禍とそこからの出口を迎えた様々な影響が、患者数の変動や財政的な大きな増減などから伺い知ることができた。これらのことは、良い面も悪い面も含まれていること、その中で善処しようとしてきたことも理解した。また、決算資料に付随して個別の資料も抽出的に確認したが、手続き、記録などの面で疎漏な点は見当たらなかった。このことから公立能登総合病院の全職員が、各々に与えられたミッションを実直に果たしながら病院事業が運営されていることを感じることもできた。ただ残念なことに、年初の震災がそうした取り組みを根底から揺さぶる状況をもたらしたことに監査委員としても忸怩たる思いがある。引き続き、公立病院であり地域拠点医療機関としての役割を果たすことを期待し、持続可能な健全経営の確立に取り組んでいただきたい。

審査資料

第1表	診療科別医業収益の状況（税込み）	120
第2表	比較損益計算書（税抜き）	122
第3表	比較貸借対照表（税抜き）	124
第4表	キャッシュ・フロー計算書（税抜き）	126

(第1表) 診療科別医業収益の状況(税込み)

区分 科別	入 院						
	延べ患者数	対前年度 伸 率	入院収益	対前年度 伸 率	一人当り 収 益	一日平均 患 者 数	平均在院 日 数
	人	%	円	%	円	人	日
内科	32,429	21.9	1,491,658,889	16.3	45,998	88.6	18.1
脳神経内科	1,559	△ 27.2	83,959,401	△ 23.0	53,855	4.3	16.0
循環器内科	9,035	△ 33.2	562,798,581	△ 24.7	62,291	24.7	17.0
小児科	903	16.5	54,994,741	24.0	60,902	2.5	4.9
外科	7,685	△ 15.5	496,695,536	△ 10.9	64,632	21.0	13.5
整形外科	15,429	△ 14.5	780,309,405	△ 18.3	50,574	42.2	24.5
形成外科	2,172	△ 10.8	100,918,546	△ 15.9	46,463	5.9	16.1
美容外科	0	-	0	-	-	0.0	0.0
脳神経外科	9,396	△ 15.9	678,759,882	△ 0.9	72,239	25.7	22.8
皮膚科	824	13.7	34,452,178	16.6	41,811	2.3	13.7
泌尿器科	3,724	△ 2.2	237,792,755	6.9	63,854	10.2	9.0
産婦人科	1,470	△ 11.9	90,127,217	△ 20.0	61,311	4.0	8.8
眼科	53	△ 88.2	4,714,638	△ 87.6	88,955	0.1	4.1
耳鼻いんこう科	717	△ 12.5	49,381,758	7.6	68,873	2.0	6.6
放射線科	0	-	0	-	-	0.0	0.0
麻酔科	0	-	0	-	-	0.0	0.0
歯科口腔外科	396	△ 7.9	21,577,290	6.1	54,488	1.1	5.5
人間ドック	310	△ 8.8	-	-	-	0.8	2.0
小 計	86,102	△ 6.5	4,688,140,817	△ 5.7	54,645	235.3	16.1
精神科	10,774	6.3	215,865,525	10.1	20,036	29.4	68.2
病 院 計	96,876	△ 5.2	4,904,006,342	△ 5.1	50,784	264.7	17.6
能登島診療所	-	-	-	-	-	-	-
鉦打診療所	-	-	-	-	-	-	-
診療所計	-	-	-	-	-	-	-

外 来						合 計			
延べ患者数	対前年度 伸 率	外来収益	対前年度 伸 率	一人当り 収 益	一日平均 患者数	延べ患者数	対前年度 伸 率	収益金額	対前年度 伸 率
人	%	円	%	円	人	人	%	円	%
43,847	△ 11.6	775,463,315	△ 18.2	17,686	180.4	76,276	0.1	2,267,122,204	1.6
2,242	△ 16.1	85,053,572	△ 6.7	37,936	9.2	3,801	△ 21.0	169,012,973	△ 15.6
12,769	△ 17.6	169,182,059	△ 15.2	13,249	52.5	21,804	△ 24.9	731,980,640	△ 22.7
9,026	4.9	76,980,559	△ 27.3	8,529	37.1	9,929	5.9	131,975,300	△ 12.1
6,536	△ 4.5	199,772,230	16.0	30,565	26.9	14,221	△ 10.8	696,467,766	△ 4.5
14,497	△ 15.8	166,579,846	△ 6.3	11,491	59.7	29,926	△ 15.1	946,889,251	△ 16.4
5,308	△ 15.3	34,351,940	△ 20.6	6,472	21.8	7,480	△ 14.0	135,270,486	△ 17.1
154	△ 63.3	2,367,141	△ 21.1	15,371	0.6	154	△ 63.3	2,367,141	△ 21.1
3,436	△ 9.7	51,382,257	△ 11.7	14,954	14.1	12,832	△ 14.4	730,142,139	△ 1.7
7,341	△ 23.3	45,974,142	21.5	6,263	30.2	8,165	△ 20.7	80,426,320	19.3
11,789	△ 16.7	199,683,944	△ 16.2	16,938	48.5	15,513	△ 13.6	437,476,699	△ 5.0
4,858	△ 17.3	39,813,130	5.3	8,195	20.0	6,328	△ 16.1	129,940,347	△ 13.6
5,132	△ 35.5	34,051,401	△ 39.8	6,635	21.1	5,185	△ 38.3	38,766,039	△ 59.1
7,236	△ 23.7	72,602,960	△ 8.4	10,034	29.8	7,953	△ 22.8	121,984,718	△ 2.5
1,661	2.7	46,965,832	△ 3.6	28,276	6.8	1,661	2.7	46,965,832	△ 3.6
98	40.0	0	-	-	0.4	98	-	0	-
12,071	△ 7.7	77,843,362	△ 6.0	6,449	49.7	12,467	△ 7.7	99,420,652	△ 3.6
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
148,001	△ 14.3	2,078,067,690	△ 12.7	14,041	609.1	234,103	△ 11.6	6,766,208,507	△ 7.9
27,659	△ 6.3	180,342,003	△ 6.8	6,520	113.8	38,433	△ 3.1	396,207,528	1.7
175,660	△ 13.1	2,258,409,693	△ 12.2	12,857	722.9	272,536	△ 10.5	7,162,416,035	△ 7.5
1,981	△ 7.9	13,662,040	△ 12.5	6,897	10.5	1,981	△ 7.9	13,662,040	△ 12.5
67	△ 9.5	391,470	△ 7.4	5,843	1.9	67	△ 9.5	391,470	△ 7.4
2,048	△ 7.9	14,053,510	△ 12.4	6,862	-	2,048	△ 7.9	14,053,510	△ 12.4

(第2表) 比較損益

科 目	借		方		前年度対比(増減)	
	令和5年度		令和4年度		前年度対比(増減)	
	金 額 (A)	構成比	金 額 (B)	構成比	金 額 (C) (C = A - B)	増減率 (C/B× 100)
	円	%	円	%	円	%
1 医業費用	8,219,437,737	94.7	8,178,043,458	94.8	41,394,279	0.5
(1) 給与費	4,878,448,063	56.2	4,809,340,555	55.8	69,107,508	1.4
(2) 材料費	1,398,072,083	16.1	1,447,083,470	16.8	△ 49,011,387	△ 3.4
(3) 経費	1,537,091,971	17.7	1,510,690,115	17.5	26,401,856	1.7
(4) 減価償却費	389,218,450	4.5	391,145,204	4.5	△ 1,926,754	△ 0.5
(5) 資産減耗費	3,165,262	0.0	6,937,950	0.1	△ 3,772,688	△ 54.4
(6) 研究研修費	13,441,908	0.2	12,846,164	0.1	595,744	4.6
2 医業外費用	378,549,310	4.4	393,802,511	4.6	△ 15,253,201	△ 3.9
(1) 支払利息及び 企業債取扱諸費	89,896,714	1.1	104,779,899	1.2	△ 14,883,185	△ 14.2
(2) 長期前払消費税償却	16,660,014	0.2	18,417,206	0.2	△ 1,757,192	△ 9.5
(3) 雑損失	271,992,582	3.1	270,605,406	3.2	1,387,176	0.5
3 特別損失	81,553,396	0.9	52,411,732	0.6	29,141,664	55.6
(1) 固定資産売却損	7,115,254	0.1	50,039,732	0.6	△ 42,924,478	△ 85.8
(2) 災害による損失	41,359,542	0.4	0	0.0	41,359,542	皆増
(3) その他特別損失	33,078,600	0.4	2,372,000	0.0	30,706,600	1,294.5
事業費用合計	8,679,540,443	100.0	8,624,257,701	100.0	55,282,742	0.6
当年度純利益	129,643,929		1,586,511,864		△ 1,456,867,935	△ 91.8
合計	8,809,184,372		10,210,769,565		△ 1,401,585,193	△ 13.7
当年度純利益	129,643,929		1,586,511,864		△ 1,456,867,935	△ 91.8
前年度繰越利益剰余金	4,945,930,401		3,559,418,537		1,386,511,864	39.0
その他未処分利益剰余金変動額	273,735,000		272,187,000		1,548,000	0.6
当年度未処分利益剰余金	5,349,309,330		5,418,117,401		△ 68,808,071	△ 1.3

計 算 書 (税抜き)

科 目	貸		方		前年度対比(増減)	
	令和5年度		令和4年度		金 額 (C) (C = A - B)	増減率 (C/B× 100)
	金 額 (A)	構成比	金 額 (B)	構成比		
	円	%	円	%	円	%
1 医業収益	7,617,231,867	86.4	8,254,461,639	80.8	△ 637,229,772	△ 7.7
(1) 入院収益	4,904,006,342	55.6	5,165,579,065	50.6	△ 261,572,723	△ 5.1
(2) 外来収益	2,271,228,635	25.8	2,587,947,203	25.3	△ 316,718,568	△ 12.2
(3) その他医業収益	441,996,890	5.0	500,935,371	4.9	△ 58,938,481	△ 11.8
2 医業外収益	1,187,329,110	13.5	1,951,744,613	19.1	△ 764,415,503	△ 39.2
(1) 受取利息及び配当金	6,518,246	0.1	3,784,413	0.0	2,733,833	72.2
(2) 補助金	158,317,300	1.8	931,976,790	9.1	△ 773,659,490	△ 83.0
(3) 負担金交付金	681,483,272	7.7	658,537,971	6.5	22,945,301	3.5
(4) 長期前受金戻入	236,426,055	2.7	231,913,518	2.3	4,512,537	1.9
(5) その他医業外収益	104,584,237	1.2	125,531,921	1.2	△ 20,947,684	△ 16.7
3 特別利益	4,623,395	0.1	4,563,313	0.1	60,082	1.3
(1) 固定資産売却益	0	0.0	4,563,313	0.1	△ 4,563,313	皆減
(2) その他特別利益	4,623,395	0.1	0	0.0	4,623,395	皆増
事業収益合計	8,809,184,372	100.0	10,210,769,565	100.0	△ 1,401,585,193	△ 13.7
合計	8,809,184,372		10,210,769,565		△ 1,401,585,193	△ 13.7

(第3表) 比較貸借

科 目	借 方					
	令和5年度		令和4年度		対前年度増減	
	金 額 (A)	構成比	金 額 (B)	構成比	金 額 (C) (C=A-B)	増減率 (C/B× 100)
	円	%	円	%	円	%
資産の部						
1. 固定資産	9,862,202,553	48.4	8,873,605,044	46.5	988,597,509	11.1
(1) 有形固定資産	9,690,069,886	47.6	8,811,490,803	46.2	878,579,083	10.0
ア. 土地	1,913,618,771	9.4	1,925,385,055	10.1	△ 11,766,284	△ 0.6
イ. 建物	5,526,814,609	27.1	5,454,837,735	28.6	71,976,874	1.3
ウ. 構築物	361,224,786	1.8	381,167,404	2.0	△ 19,942,618	△ 5.2
エ. 器械備品	1,822,844,845	9.0	1,005,717,974	5.3	817,126,871	81.2
オ. 車両	4,829,905	0.0	3,645,665	0.0	1,184,240	32.5
カ. リース資産	7,450,970	0.0	7,450,970	0.0	0	0.0
キ. 建設仮勘定	20,000,000	0.1		0.0	20,000,000	皆増
ク. その他有形固定資産	33,286,000	0.2	33,286,000	0.2	0	0.0
(2) 無形固定資産	3,582,964	0.0	3,582,964	0.0	0	0.0
ア. 電話加入権	3,582,964	0.0	3,582,964	0.0	0	0.0
(3) 投資その他資産	168,549,703	0.8	58,531,277	0.3	110,018,426	188.0
ア. 長期貸付金	3,333,600	0.0	3,888,000	0.0	△ 554,400	△ 14.3
イ. 長期前払消費税	163,230,003	0.8	52,601,217	0.3	110,628,786	210.3
ウ. その他投資	1,986,100	0.0	2,042,060	0.0	△ 55,960	△ 2.7
2. 流動資産	10,503,042,145	51.6	10,213,931,033	53.5	289,111,112	2.8
(1) 現金預金	8,977,067,720	44.1	8,134,607,773	42.6	842,459,947	10.4
(2) 未収金	1,500,951,040	7.4	2,052,885,176	10.8	△ 551,934,136	△ 26.9
(3) 貯蔵品	25,023,385	0.1	26,438,084	0.1	△ 1,414,699	△ 5.4
資産合計	20,365,244,698	100.0	19,087,536,077	100.0	1,277,708,621	6.7

対 照 表 (税抜き)

科 目	貸		方		対前年度増減	
	令和5年度		令和4年度		金 額	増減率
	金 額 (A)	構成比	金 額 (B)	構成比	(C) (C=A-B)	(C/B× 100)
	円	%	円	%	円	%
負債の部						
1. 固定負債	6,470,140,552	31.8	5,924,760,078	31.0	545,380,474	9.2
(1) 企業債	4,745,391,943	23.3	4,346,042,631	22.7	399,349,312	9.2
(2) 引当金	1,724,748,609	8.5	1,578,717,447	8.3	146,031,162	9.2
ア. 退職給付引当金	1,724,748,609	8.5	1,578,717,447	8.3	146,031,162	9.2
2. 流動負債	2,261,123,823	11.1	1,875,919,078	9.8	385,204,745	20.5
(1) 企業債	920,950,688	4.5	937,896,201	4.9	△ 16,945,513	△ 1.8
(2) 未払金	943,310,630	4.6	575,946,829	3.0	367,363,801	63.8
(3) 引当金	334,183,306	1.6	302,306,320	1.6	31,876,986	10.5
ア. 賞与引当金	334,183,306	1.6	302,306,320	1.6	31,876,986	10.5
(4) その他流動負債	62,229,199	0.3	58,969,728	0.3	3,259,471	5.5
ア. 預り金	62,229,199	0.3	58,969,728	0.3	3,259,471	5.5
(5) 前受金	450,000	0.0	800,000	0.0	△ 350,000	△ 43.7
3. 繰延収益	1,890,192,716	9.3	1,729,536,528	9.1	160,656,188	9.3
(1) 長期前受金	5,686,032,844	27.9	5,323,629,464	27.9	362,403,380	6.8
(2) 収益化累計額	△ 3,795,840,128	△ 18.6	△ 3,594,092,936	△ 18.8	△ 201,747,192	5.6
負債合計	10,621,457,091	52.2	9,530,215,684	49.9	1,091,241,407	11.5
資本の部						
1. 資本金	3,093,062,157	15.2	2,820,875,157	14.8	272,187,000	9.6
2. 剰余金	6,650,725,450	32.6	6,736,445,236	35.3	△ 85,719,786	△ 1.3
(1) 資本剰余金	521,079,586	2.5	464,256,301	2.4	56,823,285	12.2
(2) 利益剰余金	6,129,645,864	30.1	6,272,188,935	32.9	△ 142,543,071	△ 2.3
ア. 減債積立金	750,336,534	3.7	824,071,534	4.3	△ 73,735,000	△ 8.9
イ. 建設改良積立金	30,000,000	0.1	30,000,000	0.2	0	0.0
ウ. 未処分利益剰余金	5,349,309,330	26.3	5,418,117,401	28.4	△ 68,808,071	△ 1.3
資本合計	9,743,787,607	47.8	9,557,320,393	50.1	186,467,214	2.0
負債資本合計	20,365,244,698	100.0	19,087,536,077	100.0	1,277,708,621	6.7

(第4表) キャッシュ・フロー計算書(税抜き)

1. 業務活動によるキャッシュ・フロー
 医業収入等による現金の増減

(単位:円)

区 分	令和4年度	令和5年度	増 減
当年度純利益(△は当年度純損失)	1,586,511,864	129,643,929	△ 1,456,867,935
減価償却費	391,145,204	389,218,450	△ 1,926,754
長期貸付金免除額	0	3,628,800	3,628,800
長期前受金戻入額	△ 232,082,823	△ 236,426,055	△ 4,343,232
その他医業外収益	0	△ 3,871	△ 3,871
受取利息及び配当金	△ 3,784,413	△ 6,518,246	△ 2,733,833
支払利息及び企業債取扱諸費	104,779,899	89,896,714	△ 14,883,185
固定資産除却損	6,937,950	3,165,262	△ 3,772,688
固定資産売却損益(△は益)	45,476,419	7,115,254	△ 38,361,165
未収金の増減額(△は増加)	△ 481,870,036	587,669,091	1,069,539,127
未払金の増減額(△は減少)	60,167,953	△ 106,694,096	△ 166,862,049
たな卸資産の増減額(△は増加)	3,103,636	1,414,699	△ 1,688,937
預り金の増減額(△は減少)	0	△ 808,714	△ 808,714
返還免除引当金の増減額(△は減少)	4,320,000	1,296,000	△ 3,024,000
退職給付引当金の増減額(△は減少)	146,031,162	146,031,162	0
賞与引当金の増減額(△は減少)	36,986,516	31,876,986	△ 5,109,530
長期前払消費税	△ 3,048,835	△ 110,733,915	△ 107,685,080
その他流動負債の増減額(△は減少)	841,511	2,909,471	2,067,960
小計	1,665,516,007	932,680,921	△ 732,835,086
受取利息及び配当金	3,784,413	6,518,246	2,733,833
支払利息及び企業債取扱諸費	△ 104,779,899	△ 89,542,968	15,236,931
業務活動によるキャッシュ・フロー	1,564,520,521	849,656,199	△ 714,864,322

2. 投資活動によるキャッシュ・フロー
 施設整備等による現金の増減

(単位:円)

区 分	令和4年度	令和5年度	増 減
有形固定資産の取得による支出	△ 239,023,051	△ 846,127,039	△ 607,103,988
有形固定資産の売却による収入	28,200,000	14,423,710	△ 13,776,290
国・県補助金等による収入	3,509,000	82,495,422	78,986,422
貸付金の貸付による支出	△ 5,070,000	△ 4,903,100	166,900
貸付金の回収による収入	225,450	405,150	179,700
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 212,158,601	△ 753,705,857	△ 541,547,256

3. 財務活動によるキャッシュ・フロー
 企業債の収入の増減等による現金の増減

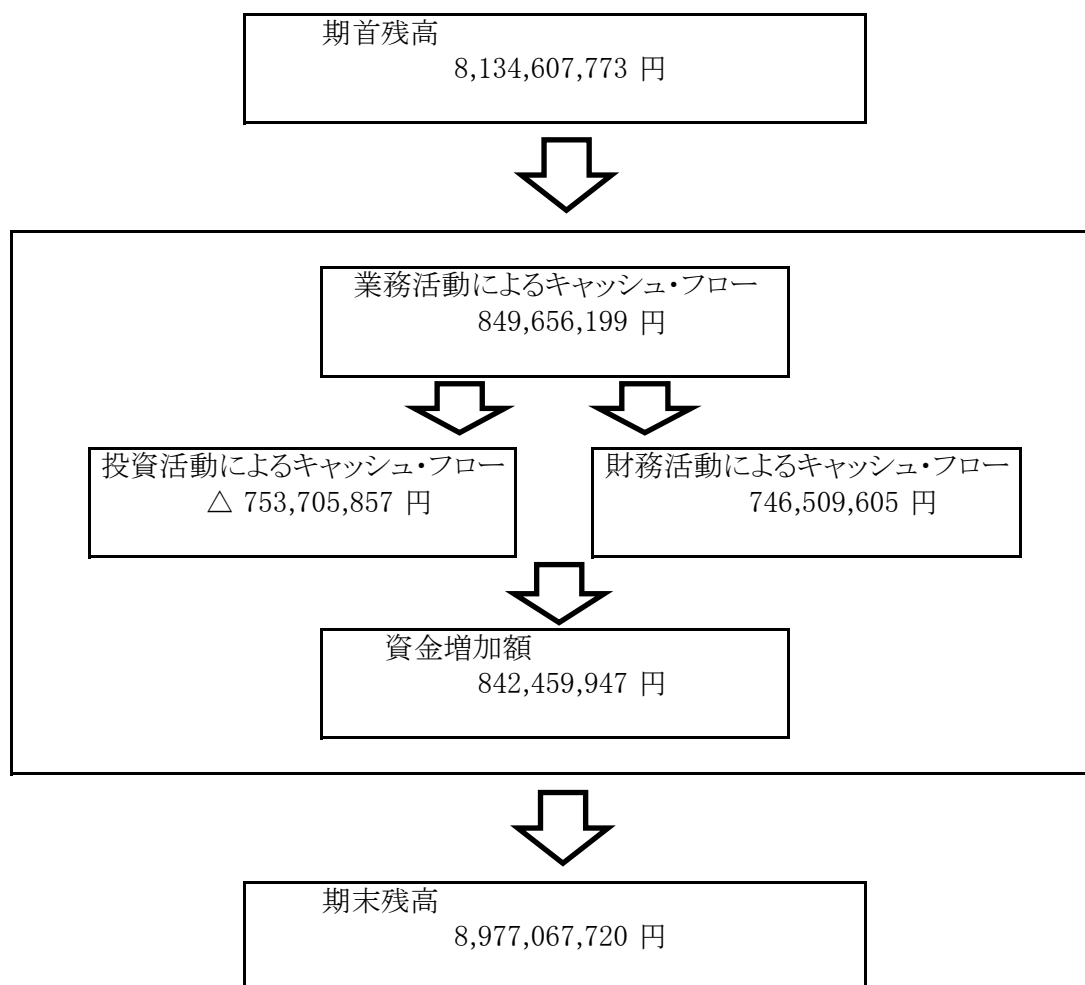
(単位:円)

区 分	令和4年度	令和5年度	増 減
企業債による収入	171,500,000	1,320,300,000	1,148,800,000
企業債の償還による支出	△ 971,540,166	△ 907,973,701	63,566,465
一般会計からの繰入金による収入	362,378,029	334,183,306	△ 28,194,723
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 437,662,137	746,509,605	1,184,171,742

(単位:円)

区 分	令和4年度	令和5年度	増 減
資金増加額(又は減少額)	914,699,783	842,459,947	△ 72,239,836
資金期首残高	7,219,907,990	8,134,607,773	914,699,783
資金期末残高	8,134,607,773	8,977,067,720	842,459,947

キャッシュ・フロー概況



< 経営指標の推移 >

(単位:%)

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
経常収支比率	101.6	124.7	122.2	119.1	102.4
修正医業収支比率	93.0	91.6	96.1	98.4	90.5
病床稼働率(一般)	81.5	74.0	77.5	76.4	71.3
病床稼働率(精神)	47.1	31.2	29.4	27.8	29.4
病床稼働率(感染症)	0.0	7.8	2.8	4.0	0.0

【経常収支比率】

医業費用、医業外費用に対する医業収益、医業外収益の割合を表し、病院活動による収益状況を示す指標

$$\text{算出式} = (\text{経常収益}) / (\text{経常費用}) \times 100$$

【修正医業収支比率】

病院の本業である医業活動から生じる医業費用に対する医業収益(繰入金を除く)の割合を示す指標

$$\text{算出式} = (\text{医業収益} - \text{他会計負担金}) / (\text{医業費用}) \times 100$$

【病床稼働率】

年延病床数に対する年延入院患者数の割合を表し、病院の施設が有効に活用されているかを示す指標

$$\text{算出式} = (\text{年延入院患者数} / \text{年延病床数}) \times 100$$